

1. 第三者評価結果概要表

作成日 平成21年8月26日

【評価実施概要】

事業所番号	2871900177		
法人名	医療法人 光邦会		
事業所名	グループホーム銀荘		
所在地	小野市葉多町257-1 (電話) 0794-62-7835		
評価機関名	社会福祉法人 兵庫県社会福祉協議会		
所在地	神戸市中央区坂口通2-1-18		
訪問調査日	平成21年7月13日	評価確定日	平成21年8月26日

【情報提供票より】(平成21年6月20日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成12年7月10日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	5 人
職員数	6 人	常勤 5人, 非常勤 1人, 常勤換算 5.2人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	2 階建ての	1 ~ 2	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000 円	その他の経費(月額)	5,000 円
敷金	有(円)	(無)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000 円		

(4) 利用者の概要(6月20日現在)

利用者人数	5 名	男性 0 名	女性 5 名
要介護1	0 名	要介護2	1 名
要介護3	3 名	要介護4	1 名
要介護5	0 名	要支援2	0 名
年齢	平均 88 歳	最低 83 歳	最高 95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	依藤診療所・よこた歯科
---------	-------------

【第三者評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>田園に囲まれた、道路より奥まった所にある小野市に最初に設立されたグループホームである。母体の老人保健施設に接続し、1ユニット女性5名に限定している。「和みの中で私らしくいつまでも」の理念のもとに、利用者にとったサービスを日常的におくれるように職員一同心がけている。利用者は、個人の趣味等を活かしながら生活している。今後は、さらに地域に密着して交流を図り、より良いサービスの質の向上につなげることが望まれる。</p>
--

【重点項目への取組状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:第三者4)</p> <p>前回の評価を踏まえて、職員全員でアセスメントや日々の記録の見直しを行った。エレベーターが設置されていないという建物の構造上の問題点もあるが、職員が工夫をして改善課題に取り組んだ。利用者が重度化してきているため、今後はさらに職員全員が利用者支援に計画的にとりくまれる事を期待したい。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:第三者4)</p> <p>前回の評価を踏まえて、管理者・全職員で自己評価に取り組んだ。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:第三者4,5,6)</p> <p>2月に初めて運営推進会議を開催し、家族代表・市の高齢福祉課職員を交えて、介護保険の説明等議題に沿っての意見交換を行った。運営推進会議が2月に初めて開催されたが、議題を出して改善策を検討するなど、今後は概ね2ヶ月に1回開催されることを期待したい。また、会議のメンバーについて、地域関係者の参加に向けた働きかけが望まれる。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:第三者7,8)</p> <p>月に1回以上、家族に利用者の暮らしぶりや事業所での様子を文書にて知らせたり、家族が訪問される度に写真等も見てもらっている。「ご家族様要望ノート」を設けて記入していただき、そこで出された意見を運営に反映させている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:第三者3)</p> <p>併設の老人保健施設が開催している夏祭りや秋祭りでの獅子舞等、地域との交流を行っている。近くで野菜作りをされている地域住民との交流もあるが、老人会・自治会には加入していない。地域との交流は十分とは言えないので、今後は民生委員に働きかけたり、老人会・自治会への加入を検討するなど、地域との交流をより深めていくことを期待したい。</p>

2. 第三者評価報告書

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	管理者・職員で「和みの中で私らしくいつまでも」の理念を作り上げ、額縁を全員で作成して玄関に掲げ、利用者・職員をはじめ私らしさを失わないように理念を共有している。		地域密着型サービスの事業所として、地域に根ざした活動を展開していけるように、引き続き地域密着型サービスの役割を考えながら、理念を検討することが望まれる。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	利用者が5人であるため、一人ひとりの好きな事を尊重して、いつまでも私らしくをモットーにケアプランに反映しているが、全職員が理念を共有するまでには至っていない。		地域密着型サービスとしての理念を共有し、実践が理念に基づいたものとなるよう、全職員が共有できる場を確保することが望まれる。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	併設の老人保健施設が開催している夏祭りや秋祭りでの獅子舞等、地域との交流を行っている。近くで野菜作りをされている地域住民との交流もあるが、老人会・自治会には加入していない。		地域との交流は十分とは言えないので、今後は民生委員に働きかけたり、老人会・自治会への加入を検討するなど、地域との交流をより深めていくことを期待したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	建物等の構造上の問題もあるが、全職員が第三者評価の意義を理解し、職員連絡ノートを活用しながら、職員間の連携を密にして課題の改善に取り組んだ。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2月に初めて運営推進会議を開催し、家族代表・市の高齢福祉課職員を交えて、介護保険の説明等議題に沿っての意見交換を行った。</p>		<p>運営推進会議が2月に初めて開催されたが、議題を出して改善策を検討するなど、今後は概ね2ヶ月に1回開催されることを期待したい。また、会議のメンバーについて、地域関係者の参加に向けた働きかけが望まれる。</p>
6	9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>小野市にあるグループホーム3者と連携を取り連絡会を開催する中で、小野市の福祉課よりアドバイスをいただき、サービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>月に1回以上、家族に利用者の暮らしぶりや事業所での様子を文書にて知らせたり、家族が訪問される度に写真等も見てもらっている。また、金銭については、料金支払いに家族が訪問されるので、その時に知らせている。家族よりのお礼の手紙はファイルに保管している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>「ご家族様要望ノート」を設けて記入していただき、そこで出された意見を運営に反映させている。ご家族様要望ノートや利用者ノートは、家族がいつでも閲覧できる状態になっている。</p>		<p>家族の要望が記されたノートや利用者の個人情報記されたノートを誰もが閲覧できる状態になっているのは、個人情報保護の面からも課題があるので、管理の仕方に工夫が望まれる。また、匿名で投書できる意見箱の設置等プライバシーに配慮した取り組みも検討することが望まれる。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>現在まで異動は行っていないが、異動がある場合は併設の老人保健施設からであり、頻りに訪問ができるため、顔馴染みの関係を作ることができ、利用者へのダメージを与えないように努力している。</p>		


第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	認知症介護に関する研修には参加し、終末医療・緊急対策などの研修にも参加する順番を決めて対応している。しかしながら、職員の研修計画は作成されていない。		職員を育成していくためにも、職員の段階に応じた研修計画を作成していくことが望まれる。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域のグループホーム3者と連携を密にしており、連絡会などを開催している。現在は管理者のみが連絡会に参加している状況である。		職員個々の質の向上を図るためにも、今後は管理者だけではなく、様々な職員が連絡会や勉強会などに参加できるよう働きかけていくことが望まれる。
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気になじむように馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	現在は老人保健施設を利用していた方がホームを利用している。体験入居も行えるが、移行前に職員が老人保健施設に出向き、スムーズに移行できるように支援している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	利用者と共に過ごし支えあう関係 職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者と一緒に料理をしたり、手芸をしたり、播磨地方の言葉遊びを教えてもらったり、共に過ごす時間を大切にしている。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日常会話の中から利用者の思いや意向を把握している。職員間で、細かい所まで利用者ノートを共有し、一人ひとりの思いや希望などを記入して、本人本位に、また出来る限り向き合う時間を大切にしている。</p>		
2.より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>家族から出来る限り利用者の生活の背景を聞き取るなど、主に家族や利用者の意見を参考にして介護計画を作成している。また、ホームに移る前の併設の老人保健施設のケアプランも参考にしている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応出来ない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。</p>	<p>利用者に変化がある時は、全職員で相談したり、利用者ノートを共有して、その都度見直している。特に、家族の希望を取り入れて、家族の協力のもとに随時見直しを行っている。</p>		
3.多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>出来るだけ利用者や家族の要望を聞き、散歩・外食に連れ出したり、家族の協力や連携を取りながら支援を行っているが、事業所の多機能性を活かした支援を行うまでには至っていない。</p>		<p>事業所の多機能性を活かすため、地域の在宅認知症の支援等、認知症ケアの専門性を活かした支援の導入を検討されてはどうか。</p>

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>協力医療機関が車で5分程度の所にあるため、いつでも往診できる体制にあり、また、入居前からのかかりつけ医がいる場合は、家族が往診に連れていっている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>ホームでの看取りの経験もあり、家族と話し合いのうえ、家族の思いを考慮に入れて、事業所全体で方針を確認している。</p>		<p>ホームでの看取りを希望する家族も多いことから、終末期のあり方について医療関係者・家族・職員も交えて状況の変化を繰り返し話し合い、方針を書面として残されることを期待したい。</p>
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>ケアプラン・ご家族様要望ノート・利用者ノートは自由に閲覧出来るように、昼間は1階に置いてあり、夜のみ鍵がかかる場所に保管している。</p>		<p>個人情報に関わる書類が、昼間は関係者以外にも閲覧できる状態になっているので、書類全般の管理について個人情報の管理の面から再度の工夫を期待したい。</p>
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者の中で編み物をされる方が多く、材料は家人が持って来ている。また、雑布を縫ったり、ごみ袋を手作りしたり、音楽をかけたりして、本人の希望にそって支援している。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	出来る方には、食事の準備や片付けを手伝ってもらったり、一緒に作れるメニューを考えたりしている。2ヶ月に1度、併設の老人保健施設の管理栄養士に栄養面のアドバイスをもらっている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	段差があるなど入浴する上での構造上の問題はありますが、毎日でも入浴することができ、本人の希望やタイミングをみて支援している。		建物・設備の構造上の問題はあるが、車椅子利用の方でも安心して入浴ができ、また楽しめるよう、引き続き段差解消に向けた取り組みが期待される。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	機能低下とともに、利用者が重度化してきているが、歌を歌ったり、花壇に行ったり、楽しみごとを把握して、その都度気晴らしの支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者が重度化してきているが、出来る限り買い物等に連れ出し、家族の協力も含めて支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	利用者の意思で花壇等に行けるよう、玄関には鍵をかけておらず、自由に出入りできるようにしている。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年2回併設の老人保健施設と合同で、消防署の立会いのもと避難訓練を行っている。</p>		<p>併設の老人保健施設と合同で避難訓練を行っているが、建物の構造上の問題もあるので、実際に災害が起こった時に避難できるよう日頃からの訓練が望まれる。また、日頃から地域の協力を得られるよう、今後より一層地域に働きかけていくことを期待したい。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>毎日の食事量や水分量も含めて記録を行い、出来るだけ一人ひとりの状態に応じて支援している。また、2ヶ月に1度、併設の老人保健施設の管理栄養士に栄養面のアドバイスをもらっている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ホーム全体のスペースは狭いが、家庭的な雰囲気のもとに階段等に花を飾るなど、生活感や季節感を採り入れ、利用者がいつでも落ち着けるように工夫している。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者ごとに孫の写真が飾ってあったり、使い慣れたものを持ち込んだり、その方が安全・安心して過ごせるように工夫している。</p>		

 は、重点項目。